

全農育成スプレーギク品種 年間出荷本数1,000万本突破

全農が育成したスプレーギク品種の産地からの市場出荷量は年々増加しており、平成20年度実績で1,000万本を突破した(図-1)。品種別の出荷本数を表-1に示した。

スプレーギクは、1茎多花の小・中輪タイプのキクである。花色や花型が豊富で、用途も幅広いので、国内での需要を伸ばしている。営農・技術センター農産物商品開発室では、平成3年からスプレーギクの品種開発に取り組んでおり、これまで開発したうち約50品種がJAグループオリジナル品種として施設栽培の産地を中心に生産されている。

全農育成品種の特長

全農育成品種は、育種工程をすべてガラス室などの施設内で行っているため、施設栽培に適している。スプレ

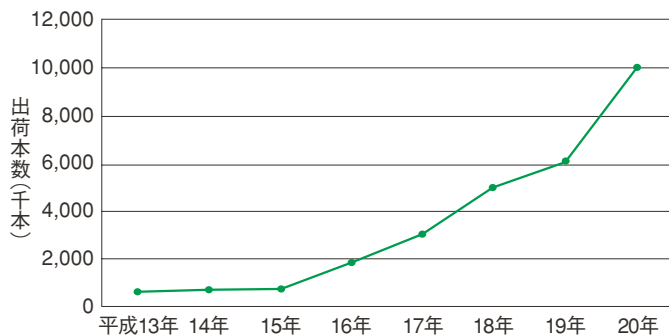


図-1 全農スプレーギク品種年間出荷本数の推移

ーギクの周年生産体系は、夏秋ギク(7～9月出荷)と秋ギク(10～6月出荷)の2タイプを組み合わせることににより成り立っており、全農育成品種もその体系に対応するため、次の2タイプを用意している。

夏秋ギクタイプ(オルカ、フラム、ミルモ、ユキなど)

夏作の生産では、盆と彼岸という大きな需要期を抱えているため、需要期にあわせて出荷できる品種が重要である。そこで、電照とシェードを用いて日長管理を行うことにより、ねらった時期に開花する品種の育成に力を入れている。

秋ギクタイプ(ジーニー、キャンベルなど)

冬の需要期である年末・年始はもちろん、3月のお彼岸のような厳寒期の低温度、低日照条件を過ごす作型においても、開花遅延がなく、ボリュームが取れる品種の開発に力を入れている。



本年度も10月末週および2月下旬に開花試験を予定しています。ご覧になりたい方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

●問い合わせ先

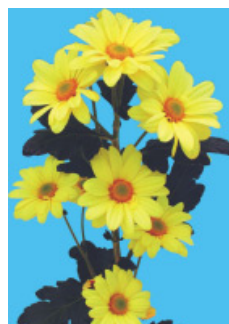
全農 営農・技術センター 農産物商品開発室

☎0463-22-1024

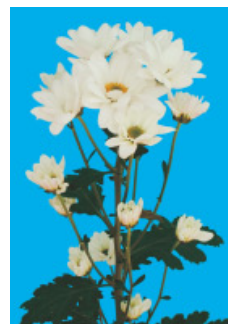
【全農 営農・技術センター 農産物商品開発室 椎名宏太】

表-1 20年度品種別出荷本数(上位10品種)

品種名	本数(千本)	タイプ	花色
オルカ	1,575	夏秋ギク	イエロー
フラム	1,464	夏秋ギク	ホワイト
ミルモ	1,152	夏秋ギク	ピンク
ユキ	1,013	夏秋ギク	ホワイト
ジーニー	672	秋ギク	ピンク
アリエス	544	夏秋ギク	ピンク
クラリス	501	夏秋ギク	ホワイト
ルグラン	323	夏秋ギク	ピンク
レモンクラリス	274	夏秋ギク	イエロー
キャンベル	206	秋ギク	イエロー



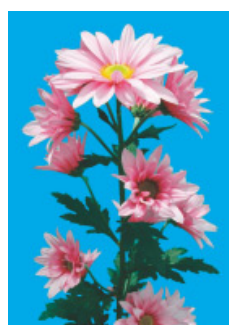
オルカ



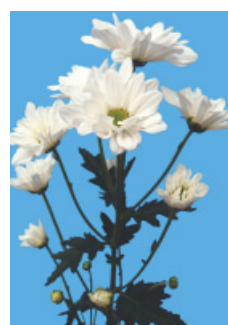
フラム



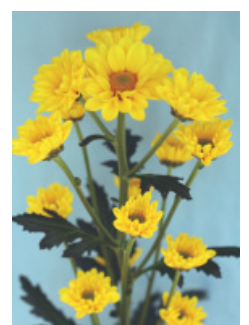
ジーニー



ミルモ



ユキ



キャンベル